

# いわさ民報

発行所 平井 義久  
社 平井 義久  
印刷所 平井 義久  
電話 八二六番

外科 諸橋鐵彌  
内科 松本源一  
平井 義久  
金成醫院  
電八二六番

青天氏  
候補断念  
郡日農公總地主側代表  
縣農地委員候補に立つ  
ていた勿來町青天氏  
次郎氏は町の農地委員  
長を兼ねておられる関係  
から六日立候補を断念  
しこの七日各関係方面  
に発表した

告及び賃引上げについて協議し  
舊玉川の分村  
住民の總意に  
十五日可否の投票を  
舊玉川村の小名濱町か  
らの分村問題は、小名  
濱町會に絶対反対を唱  
えていたが、最も憂慮  
し兩者の善分を調査中  
だつたが、今度いよ  
舊玉川の住民の總  
意に問うべく十五日午  
前八時から午後三時  
常陽銀行樓上で開催  
て國民學校で舊玉川  
住の十一月三十日確定  
新名籍による町會議員  
選挙有権者により無記  
名投票を執行すること  
に決した

父 莊治郎 葬送の際は能く御會葬  
下され御香奠御供物等を賜り誠に  
有難く御禮申上げます。一々拜禮御  
禮申上げべき處略儀ながら紙上を以て  
御禮申上げます  
昭和二十二年二月六日  
平井南町五二  
喪主 根本 正  
外親戚一同

## 薪炭横流し防止に

燃料危機の深等の輸送関係者連の参  
刻化がますます集を求めて、これが取  
す得えられる 薪りに全面的協力を要  
折柄自家用製糖を始め 薪の上郡下の田人、三  
各方面に薪炭の横流れ、川前、箕輪、上遠  
が非常に激しい現状を、入遠野方面を始め  
かんがみこれが防止取 主要生産地並に輸送上  
薪りを断行せねば、の要所へ監視員を  
薪炭の供出先途は到底配置、十一日かう一齋  
おぼつかないとおつて 薪横流しの嚴たる取締  
地方事務所では今度徹りを開始することに  
底的取締りに乗出すこと、なお監視員はど  
とに決し八日後一時の道路を通過するとも  
から平、植田兩署を始り、の要所に必ずひつ  
め平、植田兩署林警署かゝるよう配置する  
城貨物薪炭組合林産 ことなつてゐる  
組合その他陸上小運搬

地方事務所断乎乗り出す  
八日に各関係方面と懇談

猪狩行夫 全副部長  
阿部比奈子 文化部長  
長高野毅 全副部長  
山本たか子 體育部  
長吉田伴四郎 全副  
部長 佐藤善美子 厚  
生部長 酒井政直 全  
副部長 吉田要子 厚  
計部長 酒井一郎 全  
副部長 高田玉惠

青天氏  
候補断念  
郡日農公總地主側代表  
縣農地委員候補に立つ  
ていた勿來町青天氏  
次郎氏は町の農地委員  
長を兼ねておられる関係  
から六日立候補を断念  
しこの七日各関係方面  
に発表した

薪炭横流し防止に  
燃料危機の深等の輸送関係者連の参  
刻化がますます集を求めて、これが取  
す得えられる 薪りに全面的協力を要

薪炭横流し防止に  
燃料危機の深等の輸送関係者連の参  
刻化がますます集を求めて、これが取  
す得えられる 薪りに全面的協力を要

薪炭横流し防止に  
燃料危機の深等の輸送関係者連の参  
刻化がますます集を求めて、これが取  
す得えられる 薪りに全面的協力を要

薪炭横流し防止に  
燃料危機の深等の輸送関係者連の参  
刻化がますます集を求めて、これが取  
す得えられる 薪りに全面的協力を要

薪炭横流し防止に  
燃料危機の深等の輸送関係者連の参  
刻化がますます集を求めて、これが取  
す得えられる 薪りに全面的協力を要

## 花の四月開放

資材難等から遅れた  
待望の市營アパート

住宅難になやむ市民待へ水道引込みその他の  
望の市營アパートは、資材難から更に遅れ  
一月に完工、戦災者及るので市復興課では計  
画引揚者を優先的に收買を改め本月初旬には  
容れる予定だつたが完運くも三月中旬までに  
工は一むねだけであつた。一町を完備せしめて  
二町は如何に急いで遺憾なきを期し花の四  
あとも月いついは月かから一般に開社する  
るので遅れるとすることに決定した。

資材難等から遅れた  
待望の市營アパート

資材難等から遅れた  
待望の市營アパート

資材難等から遅れた  
待望の市營アパート

資材難等から遅れた  
待望の市營アパート

資材難等から遅れた  
待望の市營アパート

資材難等から遅れた  
待望の市營アパート

## 労働学校建設

同時に青年會館をも  
警炭協の事業計畫

別項警炭協結成大會  
へきん急動議として勞  
働學校の設置救國増産  
運動の展開青年行動隊  
の結成及び青年會館の  
建設その他全國統一賃  
金要求絶対支持などが  
提案されたが、二日夜公會  
堂日本間に初の議能大  
満場一致可決直に具體  
案を樹立早性實現に向  
つて進むことになつた  
が若き情勢をたぎらせ  
ての計畫なので非常に  
期待されてゐる

同時に青年會館をも  
警炭協の事業計畫

同時に青年會館をも  
警炭協の事業計畫

同時に青年會館をも  
警炭協の事業計畫

同時に青年會館をも  
警炭協の事業計畫

同時に青年會館をも  
警炭協の事業計畫

同時に青年會館をも  
警炭協の事業計畫

## 正月もようやく出超え

主力三大炭礦の協力で

常警炭田の一月中の出より二千六百七十七  
炭成績は目を取りまとの赤字を示したの  
め中だが、概算報告によると、ものである然  
ると目標二十二萬五千人の赤字を減ら  
〇(一)、四〇〇〇ト  
出超  
▲大日本勿來一五、  
八二六(一)、三三  
五〇〇(二)、三三  
ト出超

正月もようやく出超え  
主力三大炭礦の協力で

正月もようやく出超え  
主力三大炭礦の協力で

正月もようやく出超え  
主力三大炭礦の協力で

正月もようやく出超え  
主力三大炭礦の協力で

正月もようやく出超え  
主力三大炭礦の協力で

正月もようやく出超え  
主力三大炭礦の協力で

## 草笛美子来る

平で初の本格歌劇

美子名入れボタンを観客へ贈る  
一行四十名専屬バンドがある  
屋町民衆劇場で公演す  
る、毒は正後から、夜  
は六時から二回であ  
る、東京興行部の肝  
煎りであつた、平とし  
ては本格的歌劇の公開は  
初のことゝ大きな期  
待をかけられてゐる  
なお一行は八日は内郷  
町で、九日湯本町でい  
づれも常警炭協労働組  
主催で慰安公演も行  
うこととなつてゐるが  
平の公演では最後に  
草笛美子が観衆にステ  
ージから美子名入のキ  
ーを贈ることになつた  
つてもいゝので人気が  
呼んでゐる平でのプロ  
目には歌のアルバム朝の

草笛美子来る  
平で初の本格歌劇

草笛美子来る  
平で初の本格歌劇

草笛美子来る  
平で初の本格歌劇

草笛美子来る  
平で初の本格歌劇

草笛美子来る  
平で初の本格歌劇

草笛美子来る  
平で初の本格歌劇

## 急募

女給仕さん  
若干名  
ほていや  
小名濱町下町  
電話三三三番

急募  
女給仕さん  
若干名  
ほていや  
小名濱町下町  
電話三三三番

急募  
女給仕さん  
若干名  
ほていや  
小名濱町下町  
電話三三三番

急募  
女給仕さん  
若干名  
ほていや  
小名濱町下町  
電話三三三番

急募  
女給仕さん  
若干名  
ほていや  
小名濱町下町  
電話三三三番

急募  
女給仕さん  
若干名  
ほていや  
小名濱町下町  
電話三三三番

急募  
女給仕さん  
若干名  
ほていや  
小名濱町下町  
電話三三三番

急募  
女給仕さん  
若干名  
ほていや  
小名濱町下町  
電話三三三番

## 御挨拶

毎度御引立ありがとうございます  
室内完備しましたので男子部も開設しま  
した何卒御利用下さい

御挨拶  
毎度御引立ありがとうございます  
室内完備しましたので男子部も開設しま  
した何卒御利用下さい

御挨拶  
毎度御引立ありがとうございます  
室内完備しましたので男子部も開設しま  
した何卒御利用下さい

御挨拶  
毎度御引立ありがとうございます  
室内完備しましたので男子部も開設しま  
した何卒御利用下さい

御挨拶  
毎度御引立ありがとうございます  
室内完備しましたので男子部も開設しま  
した何卒御利用下さい

御挨拶  
毎度御引立ありがとうございます  
室内完備しましたので男子部も開設しま  
した何卒御利用下さい

御挨拶  
毎度御引立ありがとうございます  
室内完備しましたので男子部も開設しま  
した何卒御利用下さい

御挨拶  
毎度御引立ありがとうございます  
室内完備しましたので男子部も開設しま  
した何卒御利用下さい

## 入荷御案内

いざ編みませ 貴女の真心こめて  
仄かな絹の香り あゝ懐しの感觸よ  
まわた毛糸各色  
眞綿製品各種  
豊富に入荷しました  
株式会社  
川又  
平白銀町(電話五三番)

## 鏡屋

視力試験設備が有ります  
定指眼科各  
目丁二市平  
番〇一九話電設新

## 剛精院

葬送の際は遠路御會葬を辱  
うしかつ御鄭重なる御香奠御供物等を  
賜り有難く御禮申上げます拜禮御禮申述  
べき處略儀ながら紙上を以て御禮申上  
げます  
昭和二十二年二月六日  
平井十五丁目  
喪主 浦井長久  
外親戚一同

## 父 莊治郎

葬送の際は能く御會葬  
下され御香奠御供物等を賜り誠に  
有難く御禮申上げます。一々拜禮御  
禮申上げべき處略儀ながら紙上を以て  
御禮申上げます  
昭和二十二年二月六日  
平井南町五二  
喪主 根本 正  
外親戚一同

